九日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五八五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯印刷人 森 合 英

一部の官吏や學者等の說く官許的經濟倫理の效果少き事は既に試驗濟みである　（東朝）

閼伽井亂

時の記念日

高木稻水

六月十日は時の記念日として久しい以前から全國的に「時間尊重」「時間勵行」の宣傳日とされてゐる。翻つて思ふに現在わが國の各社會で一番時間を正確に守つてゐるものは學校、工場、役所等の公生活の場合に於てであつて、それが一度私生活になると呆れる程時間の觀念がない。一番ひどいのは宴會で、學校教員の宴會などでさへ規定の時間に開會する事はないといつて好い。いはんや他の宴會では一時間や二時間位おくれる事は普通である。是は平地方に限らぬやうだ宴會のやうなくつろいだ會合に時間にせき立てられて出席してはたまらぬとでも思ふのだらうか。翼贊事業の一つである隣組の集りにも開會の時間は守らないのが普通のやうである是が嘗つては小學校で六ヶ年無遲刻で通して來た善良な兒童の成人した姿であらうかと驚くばかりである。この際翼贊會の隣組運動の一つとして時間勵行だけでもとりあげて實行して見たいものである

時間尊重は開會の時刻を守る事だけでなく閉會の時刻を守らぬことも困る。隣組などもあとがだらく〜になつては主婦の迷惑となる事が多い。この點も司會者は念頭においてほしいものである。

時間の大切な事は誰も充分承知してゐるのだから實行方法の具体案を作つて市常會は此一ヶ年を重點をここに置いてやつて見たらどうだらう。時の記念日は單なる時についての訓話日であり、時に就いてのお祭り騒ぎの日であつてはならぬ

時局の進展につれて會合は多く、お互に複雑多忙な生活を送らねばならぬ狀態である。時間勵行！之が確實に行はれたら我々の日常生活はどんなにスムースにどんなに愉快に過ごされることであらう

民間療法と藥草

野崎順

二七、（紫根）むらさき

（藥効）昔時は染料に使用せるものにして、根は漢方の切傷、火傷の妙藥である。（産地）山野に自生する多年生草本なるも當地方にては奥地の山より見られない。（性狀）莖の高さ一二尺、葉は互生し、披針形で全邊に毛茸あり

二八、うつぼぐさ
（夏枯草）

本種は山野に普通なる多年生草で小兒は犬の臭草と稱する初夏、紫色の唇形花を開く、花穂は花後暗褐色となり枯死せる如くなる故、夏枯草の名がある、（藥効）花穂を採集乾燥し利尿藥とし、痳病に用ゆる、成分は加里鹽である、

二九、うみたら
（海葱）

海濱に自生する多年生草本（殊に河口等に自生す。一見花穂を見るとオホバコの如くである。當地方では泉村の下川等にて採集出來る（藥効）地下莖の鱗葉を海葱と呼び、之より海葱丁幾を製し、强心利尿劑とする、又人畜に無害なる殺鼠劑を作る成分はスチリン、スチレイン等である。

三〇、くず（葛根）

山野に自生する落葉藤本で秋季根を掘り乾燥したものを葛根と稱し漢方では發汗解熱藥として用ひる、感冒藥として有名なる葛根湯は葛根、麻黄、生薑、大きよう、桂枝、芍藥、甘草、の七味の配劑したものである。

三一、くろうめもどき（鼠李）

山地に自生する落葉灌木でその果實を鼠李と稱し緩下劑として用ゐる、但し新鮮なるものは嘔吐を催すことがある故、採集後一ヶ年位經過したるものを用ゐる（産地）閼伽井岳等の山地にあり。

童歌雜記帳（一）

鈴木生

鴉、鴉どこへ行く
赤井嶽の湯さ行くに
なに持つて行く
燒米、小米
俺にちんとくんねいか
やあればなくなる
なくなれば作れ
作れば寒いぞ
寒いけりや火あたれ
火あたればけむいぞ
けむいけりやしつちやれ
しつちやれば
けついてぞ
いたけりやえたちの
くそつけろ
三年つければ
よくなをるー。

會津地方でもやはりこれと同じ様な歌を歌つてゐる。赤井嶽の湯は天然の湯と、燒米小米は粟米とつこめと云つてゐる。

子供等が譯もなく唱和する歌にこんなのがある

おらげのおつかあは
犬に吠えられて
わきの道によけたらば
ほらのけえ拾ふて
ほらのけえの中は
白い鳥三つ三つ
赤い鳥三つ三つ
三つなる鳥は
どつからくだつた
天からくだつた
袴はいて下つた
袴の色は何でそめた
すづりすつた
すつぽあかまー。

柳田先生の民謡覺書の鹿角郡の童謡の中に

からすアかアて勘三郎
とんびア熊どの鐘た〻き
鐘無いて血迷うて
から竹三本みつけて
ざつく〜と割つたれば
白い木綿が十二ひろ
赤い木綿が十二ひろ
太郎坊に着せれば
次郎坊が怨みる
次郎坊に着せれば
太郎坊が怨みる
むがえの稼こさ
着せで
花帶させで
花がさかぶせで
どこ迄送つた
仙台まで送つた
仙台のわごは
何はいで踊つた
袴はいで踊つた
袴の色は
何色に染まつたア
菊色に染まつたア
きくアえでかア恥しい

と云ふのが載つてゐる何か共通な流がある様に思はれるがどうだらうか。この歌の初の方とやはり關聯してゐるんではないかと思はれるものが平の手毬歌にある。

からす駕籠へ乗つて
來て
とんびとやまの
鐘た〻き
一日働いて米五合
やすいなあ
ピートロロー

人生二題

詩

茨木範宗

歩るいてゐる
常に
自分は
歩いてゐる
或る時は沼を
或る時は林を
前途の
光りも
認め得ぬ
自分が
やはり歩いてゐるのだ

ペタルを踏んで
綠の野を
走る……
そよ風を
頰に受けて……
小鳥が
さへづつてゐる
人々よ
何處へ行くのか
…道は續いてゐる…

御注文にて
額縁と洋画材料
洋畫にシツクリ合ふ
額縁を製作致します
平市四丁目
東京屋額縁製作所

異說赤穗浪士（217）

（講）桃川若燕
城本香

牢内の天野屋利兵衛

天野屋利兵衛が牢内で無常を啣つてゐるとき、牢の外で

『新入り……』

と云ふ聲、と同時に戸前口をガラ〜〜ツと開けドーンと突つ込まれたのは素裸の男、牢内へ來るのには、土産と云ふものがあつた。俗にこれをツルと云ふ金を一兩でも二兩でも持つて來る。すると極め板といつてゐる板で一つぶん撲り、それから牢法といふものを讀みきかせる、そしてその後で土産を出させるんだが、土産がないと酷い待遇をし、土産があると幾らか手當をしてくれる。土産のないものは中には、スツテン踊りと云ふのを踊らせるときがある、それはどう云ふものかといふに丸裸で

『スツテン〜〜スツテンテン、スツテンばかりは參りません、後から好いのが參ります』

と歌ひ乍ら踊るのだ

新入りとして御牢内に入つて來たのは天野屋利兵衛と同じ町内にゐた理髪職で、牛五郎と云ふ男、理髪職は表商賣だがその內實は博奕打、薄暗いロウ屋の隅から此の男の顔を見てゐたが

『エ、ロウ名主お願ひでございます——』

『何んだ利兵衛』

『此の新入りは私の知り人でございますから どうか、極め板はまけてやつて下さいまし』

役付の者が

『極め板は負けてやれ』

と云へば打たれずに濟む、牛五郎もツルを持つて來たので、それをロウ名主の前に出す

『コレ汝ア、天野屋利兵衛を知つてゐるか』

『ヘエ利兵衛旦那のところへは始終出入りをして居りました』

『彼處に居るから禮を云へ。利兵衛の扱ひで極め板は負けてやつたんだ』

『有難うございます。利兵衛旦那が入ロウしてお出でになるとは聞いてゐましたが、幸ひ此の二番ロウにお在でなさるとは——』

『牛五郎か、どうした

『どうした所ぢやアございません。天野屋の旦那、何んだつて然う强情を張つてお在でになるんです。此の間も私がお內儀さんの所へ行つて貴下の話しを聞いて涙を流して來ましたぜ。世の中にお前さん程の人はねえ。人に頼まれたことはどうしても云はず。長い間御牢内に入つて苦しんでお在でなさる。何んと云ふ御氣象かと小哥ア友達に逢つてもその話しをする位ですが、今度博奕に喰ひ込み、今日御牢内に參りましたが、又旦那に助けられて極め板は負けて貰ふなア有難いことでございますが、併しお內儀さんも子供衆も間違ひは有りませんから御安心なさいまし』

『ウームさうか。音信もする事の出來ねえ。今の身の上、何か娑婆に變つた事アないか』

『エ、去年の暮れの十四日、淺野內匠頭様の御家來が、四十余人とかで、本所松阪町の吉良様の屋敷へ乗り込んで仇討をしたんで、その話で持ち切りですぜ

『牛五郎、コレ牛五郎何を淺野の浪人が、吉良の屋敷へ乗り込んで……』

『オツト旦那、然う俺しをつかまへちまつちやアいけねえ……』

『して本懐は逐げたか』

『逐げたかどころぢやアありません。首を斬つてそれを殿様の墓へ供へたさうですぜ』

『ウーム、さうか…』

『何んでも大石內藏之助てえ人が總大將で四十人とか五十人とかで乗り込んで行つたとか云ひまして大層な評判ですよ。だがそれから先は知りませんがね』

おでん
茶めし
平市新田町
電話三三番

小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
御會食御商談に
御利用を……
味の店
寶來

おでん
たつた揚
やきとり
一平
平市一丁目

[illegible]

漢方
貼り藥
濕布で名藥
生公華
肋膜、氣管支、關節、神經痛
肺炎、ロイマチス、扁桃腺
炎、ぢ疾に
一圓五十錢
二圓
四圓
八圓
專賣店
平市五丁目角
山野邊藥局

ヒシ印
火ツキ良ク火持ノ良イ
煉炭
ドウゾ御用命願ヒマス
石炭
阿部商店
平市驛前
電三七・一三七番

良品選でん廉價販賣
パイロット萬年筆
¥2.00以上
御入學に。御祝に……
進物ケース早上
平市公園前
角忠
佐々木商店
電話二三三番

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

産婦人科
外科
內科
花柳病科
小名濱町小學校前
電話四五
黑澤醫院
醫學士 黑澤 廣
【見習看護婦募集】

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD－8號 微電界級 ㊣¥.73.70
ダイナミック使用眞空管マツダ 12F 47B 57 58
MS－100號 微電界級 ㊣¥.52.60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り
（電呼166）

外科
整形
胃腸
性病
內科
外科
脳脊髓病
整形外科
レントゲン科
理學療法科
內科
胃腸病科
肛門病科
花柳病科
皮膚病科
泌尿器病科
松村醫院
平市南町 電一〇七
醫學博士 松村亨
醫學得業士 松村鐵郎

男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

外科專門
手術室完備
野村外科
小名濱町古港
元津村屋跡

磐城のおみやげ品
みやま羊羹
梨羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

御料理
平三田小路
の村
電一六七

新しいスタイル
夏の訪れ
パナマ帽と
ムギワラ帽子
パナマ 1.60ヨリ…20圓
ムギワラ 1.00ヨリ…3.80
ヤンダ 1.20ヨリ…3.50
夏の學生服陳列
夏の子供服陳列
夏の家庭服陳列
ブラースとワイシャツ
大黒屋

被服の經濟と衛生と技術とに責任を持つ
ドライ。クリーニング店は
諸官省、各會社、一般御家庭御用達
最新式機械完備せる
永山式特許第四七四一號登錄
福島縣衛生試驗所第四八六號公認
全國洗染クリーニング業界技術指導者任命
あらゆる衣服の整理に物理化學を應用
專門業者用最高級新洗濟を應用
……常に先端を行く
關西洗染協會顧問 永山眞彦
永山洗染舖
平市大町電（呼）三六〇
サボネックス。トリクロールエチレン
大阪硫酸工業株式會社專門業者用新洗濟
東北業界共配代理

醫院開業（入院室完備）
內科
小兒科
專門
醫學士 石坂 銓
平市六丁目交番脇
石坂醫院
午前宅診
午後往診

自動車 車掌女 助手男 急募
求人者 野崎交通自動車株式會社
人員 助手五名 車掌十名
年令 十六才以上二十才未滿
希望者 履歷書持參左ノ二申込ノ事
平國民職業指導所
電五六二番

魚類配給統制

明日海産物部役員會で答申

縣令も全面的に發動

縣商聯の海産物部役員會は明十日午後一時から福ビル內縣商聯に開かれるので平配給所から社長松本一郎氏外坂本、伊藤兩氏出席することに決定

明日の會議で縣內各配給所の配給區域並に縣內各漁港水揚げ魚類の分配比率を決めて縣商聯から縣當局に報告し、縣當局はこの答申を以つて地區配給計畫を樹て農林省及縣の出荷計畫に基き各單位漁業組合と折衝の上配給機構が整備する

縣令は六月四日附で實施されてゐるが縣商聯の配給機構整はぬため現在は一部に自由販賣も行なはれてゐるが、縣當局の計畫が確立すると縣令は全面的に發動し、配給所を經由せずに賣買すると凡て總動員法で處罰される譯である

前線より本社へ通信

萬朶の櫻と散り

皇恩に報ゆ

北支〇〇岩村隊　**藤田直君**

謹啓

御懷しき母國の皆々樣益々御清適にて新體制下國家總力戰に相應し躍進産業界に於て吾等前線將兵にも優る御活動の樣子を紙上にて見る時誠に御同慶に堪へません。

北支山東の前線にも夏は訪れ彈痕に夏草茂り城壁高く日章旗翻へるを見る時無量の感にうたれます。小生もお陰樣で元氣旺盛大陸の空氣を充分吸つて日支生命線の確保に勇奮致して居りますから他事乍ら御安心下さい。

僕等勤務地は××線のほんの田舍です。城廓を廻つた街もうすつかり治安が維持され良民は平和建國の大理想の下に安心して家業に從事して居ります、戰跡も遂次復興しつゝあります滲たる中にも雄々しく更生に立ち上る士民達の姿も尊いものです。今や國家總力の下に聖戰完遂に進捗しつゝある今日、銃後の期待を一身に背負つて銃執る吾々前線將兵は益々勇を鼓舞し萬朶の櫻と散りて身を北支の野に曝し以て皇恩に報ゆる覺悟であります故今後共宜しく御指導御鞭撻をお願ひ申上げます。

磐城毎日御中

商工會議所創立

研究の爲暫らく留保

縣案の平商工會議所創立問題は組合員の負擔が法定税額に達せぬ爲實現を見ず放置された形であるが最近福島、郡山、若松の三會議所から『四市の歩調を合す爲この際是非平商工會を創立するやう』と青沼市長を介し再答要望されてゐるため、八日夜市商工會の役員會を開き協議の結果

商業者を一丸とした地區組合が結成されて居り、會議所創立には二萬圓以上の經費を捻出せねばならず、現在の業者からこの負擔金を集めてそれだけの効果を擧げることが疑問である

と會議所設立に對しては反對意見が多數を占めるに至つた爲この問題に關しては地區組合の進行と睨み合せ今暫らく研究することになり留保と決定した

商組聯合會

解散と決定

平商業組合聯合會は商組と工組の事務取扱ひを行つてゐたが平地區組合の結成に依つて商組は自然解消するため從來の聯合會はその必要が無くなり、これが解散に關する役員會は八日夜七時から二丁目の事務所に開き剩余金七百九十一圓（備品も含む）處分の件等協議近く總會を開いて正式に解散することになつた

同聯合會は寄附金千九百三十九圓、負擔金二千四百九十五圓、雜收入二百十二圓、商工會補助百圓合計四千七百四十七圓の豫算を有り、實質的には市商工會以上の仕事を爲してゐた

香典返し

百圓寄附

平市鍛冶町吉田賢吉氏は娘さんの葬儀に際し香奠の御禮を廢止して七日金百圓を市銃後奉公會へ寄附した

農村慰問の映畫

文協が郡內二ケ所に開設

磐城文化協會委員會は昨八日午後八時から田町サロン別室で開催、五十嵐、新妻、花澤、中柴、渡邊、增田、松村、野澤、高木の諸氏出席「福島縣翼贊文化協會より通達された田植後の休養期間中、農村に慰安と娛樂を贈る目的で移動映畫會を出動せしめる件」に就いて協議した

この移動映畫班は縣下に二十ケ所希望村を募つて出動せしめるもので、磐城文協の範圍には一ケ所若しくは二ケ所と指定して來てある、映寫機は十六ミリトーキーでフイルムは二種で次のやうになつてゐる

（一）日本ニュース第一號、唄ふトクさん、戰ふ女性、相撲ノ妙技、杉野兵曹長の妻

（二）日本ニュース翼贊會版第一號、靖國神社の歌、隣組、報道戰士、暢氣眼鏡【上映時間約二時間半】

大野、川前選定

磐城文協の醫師總出動

別項、磐城文化協會では委員會案に基き大野村川前兩村を選定慰問映畫會を實施する事になり具体案を進めつゝあるが、同日は協會委員の醫師四名が總出動し午後から無料健康相談に應じ、夜分卅分乃至一時間の保健衛生講話を行ひ後映畫會に移る豫定で前記兩村へ折衝中で日程その他は追つて具體的に發表することになつた

前線慰問通信

☆★★☆★【14】☆★☆★☆★

小癪にさわる英米の汽船

漢水のほとりにて

縣議　**木村守江氏**

こゝには今次事變於て戰死した支那兵の墓碑が澤山ある。何れも抗日將士之墓と刻まれてある、まさかこの地迄日本軍に占領されるとは思はずに造つたものらしい、地下の支那の英靈も感慨無量なるものあらう、こゝには〇〇中佐が居られた鄕土の將兵が澤山ゐた特に伊達郡出身の高橋周藏中尉がゐたので大變便宜を與へられた、あまり遲くなつた爲めこゝに一晩厄介になることにして鄕土の人達と面會する、好間炭坑の岡本敏一少尉が副官として從横の手腕を揮はれてゐる、非常に立派な人である、輕いチフスをやつたが全快してこの通りですと極めて元氣であつた、特に好間炭坑の原重熊先生によろしくと申されてゐた、この地には次の人達がゐた

渡邊治中尉（好間）岡本敏一（同）大原信行（湯本）大須賀章（久之濱）谷三男（石神）矢吹正一（久之濱）永止末廣（豊間村）佐藤正隆（浪江町）大槻忠勝（內郷村）阿部貞晃（大久村）大井川泰夫（磐崎）新妻剛（久之濱）山崎弘（刈野村）長岡竹夫（龍田）小泉渡（大野）佐藤辰夫（內郷）坂本久夫（平窪）大平政男（植田）村田繁（福浦）馬場源次郎（磯野）大迫利弘（飯豊）戸田喜一（大野村）戸田勝利（大野）坂本末治（石神）伊藤義隆（湯本）馬場光喜（大野）大竹兵司（湯本）館茂（飯野村）早川正義（金房村）荒章（日立木）荒重雄（飯豊）豬狩勝正（四倉）の諸君である

盡きせぬ鄕土の物語りに夜中の一時は過ぎ朝は午前六時から語り始めた

五月十五日この日は今迄よりは幾分良い天氣かと思はれるが晴天と迄はいかぬ、午前九時頃まで色々の話をしたり記念撮影したりして前記の諸君と別れて宜昌に向ふ、河溶から當陽、宜昌に至る間は本當に山又山で支那では珍らしい綠葉樹が一面に茂つてゐる、雨あがりの道路は頻繁な交通の爲めにやつと自動車を通す程である。

いくつかの坂道を越して新店に來る、この邊から鄕土隊の兵隊がそろ／＼多くなつて來る、佐々木縣議の持つた福島民報の旗を見て福島縣ですかといふ。福島縣民代表で慰問に來たのだと答へながら健康を祈りつゝ前進する鴉鵲嶺に着く、澤山の兵隊の中からトラック上の一行を見出したとみえて長谷川充男（四倉）が走つて來る、この近くに居るとのことで今日は此の地に〇〇〇〇に來たのだといふその中に馬を引いた兵隊が先生と呼んで來る吉田皓侯（大野）君である、車の上から次から／＼と故鄕の話を始める、あと二時間位で宜昌に着くといふので歸途立寄ることを約してトラックを飛ばす、嘗つて宜昌攻撃戰に於て鄕土部隊の奮戰したといはれる仙女廟や敵將陳誠の率ひる大軍と激戰した臨江溪の邊を左方に眺めながら土門埡を過ぎ宜昌に着いたのは午後一時三十分頃であつた、こゝにも激戰の跡が偲ばる、特に市內の破壞された建物と北方高地の東山寺のある大娘子崗に日本の忠靈塔が建てゝあるのが眼につく。宜昌はそれほど廣い街ではないがこゝに來て目につくのは英國の大きな石油會社のあることである、こゝに造られてあるタンクは非常に大きなもので、これと列んで英國の立派な建築物が殘つてゐる。揚子江はこゝに來ても尙濁流であるが川幅は約千五百米位に狹くなつてゐる、英國と米國の汽船が少し下流に碇泊してゐるのが見えて、何かと聞けば大膽不敵にも重慶政府に向ふべく武器彈藥を滿載して揚子江を遡上して來たのであるが我が宜昌作戰により航江中止されたのである、今でも戰爭に必要な物資が滿載してあるとのことである、誠に困つたことにはこの船は立派な無線があつて盛んに日本軍の行動を重慶に通報してゐることであるといつてゐた話を聞いた丈で何故こんな船を擊沈せしめてしまはぬかと切齒扼腕する。案內說明してくれた某將校は現地に來て一番小癪にさわるものは英米二國の行動であるといつてゐたが吾等一同一層その感を深くした、晝食を濟しく〇〇部隊に挨拶に行く部隊長閣下は極めて心よく面接してくれた。

模範隣組

心身鍛錬と親睦ハイク

城山の廿三組

城山第廿三隣組九戸は相互扶助の精神を實踐し昨年來野菜の自給自足を圖り引續き今年も共同耕作して好成績を收めつゝあり毎月主人と主婦の常會を別個に開く等他に範を示してゐるが、昨八日の日曜日には組長新妻久滿夫さんが主婦と子供部隊廿五名を引率、國旗を先頭に縣社八幡宮、同子鍬倉神社參拜、出征將士の武運長久を祈願內郷御厩境から公園一周心身鍛錬と隣組親睦のハイクを行つた

壯丁檢査日

國旗掲揚

隣組全戸へ通牒

十一、十二の兩日は平市の壯丁日に當つてゐるので一般市民はこの日各戸に國旗を掲揚する樣市では各隣組を通じて通牒を發することに成つた

代用食講習

友の會台所から感謝

平友の會主催磐城文協後援の代用食講習會は既報の如く昨八日午前十時から平第二校の割烹室に開催、お米の規正に對應し時局下の食糧節約が目的だつた關係から申込殺到し定員卅五名を遙かに超過四倉、小名濱等からも參加する盛況振りで、友の會青年班の熱心な指導振りに會員一同も感激し

僅か五十錢の會費で『基本蒸しパン』『野菜肉混入パン』『うどん胡麻あへ』『卯の花信太卷』『三色サンドキッチ』『代用ロール』等々七種類の代用食を各々習得し澤山のお土産を作つて午後三時半散會

友の會最初の試みとして豫想外の好成績を收めた

前線慰問の

木村縣議

十一日歸路に着く

百六十萬縣民を代表去る五月二十八日福島出發、中支の第一線に活躍してゐる鄕土部隊慰問中の木村守江縣議一行は十一日上海出帆一路歸鄕の旅に着くことになつた旨昨八日木村氏宅に入電があつた福島着は十八日頃の豫定である

軟式野球

石城豫選

小名濱、古河炭礦勝つ

同業讀賣新聞社主催軟式野球大會は石城郡豫選會は八日午前八時三十分より平商業學校々庭に開き第三回戰まで行つたが結局第三回戰で古河が9－2で綴坑職員クラブを破りまた小名濱ナインが3－2で吳羽紡績を制し二チームが濱三郡豫選の出場權を獲得した、試合の結果次の通り

◇一回戰◇

入山　3A－2　父さん

吳羽　9－2　綴

古河　13－0　綴用品

日曹　9－5　四倉

◇二回戰◇

綴職員　1－0　入山

吳羽　12－2　勿來小川

小名濱　A－0　小田日曹

古河　8－1　大日炭

◇三回戰◇

古河　9A－2　綴職

小名　3A－2　吳羽

四倉校兒童

增産耕作

四倉町國民學校では食糧增産の計畫を進めてゐるが此程仲町吉田醫院所有の畑四反歩を借り受け食料增産の第一歩として甘藷苗一反歩の植付け大豆小豆等一反歩の種蒔を終つた、殘る二反歩にはそばと枝豆を主として播種する豫定で今年の成果を見て增産計畫を樹てる方針である

。。。。二毛作審査。。。。　平市では明十日午前八時より大麥、小麥、菜種、レンゲ草、蔬菜の二毛作審査會を開くことになつた

四倉方部

春蠶順調

出廻り十二日頃

平蠶業取締所管內春蠶は順調で草野、大浦、四ッ倉、大野等の各町村は早くも上簇四日目を迎へ十二日頃には出廻る豫定にある、一方過般の水害は植田方部桑園に一部被害あつたが多分に耕作してゐたため蠶には別段異狀ない

商港修築費

地元負擔十五萬圓

小名濱町では去る六日午前十時より樓上に町會を召集し小名濱港第二期擴張工事中へ本町よりの寄附に關し協議會を催したが、組工費百八十四萬圓內國庫負擔九十二萬圓縣負擔九十三萬圓縣負擔の內小名濱及關係筋の負擔寄附は三十五萬圓內本町寄附十五萬圓を承認し本年度八千百五十二圓十七年度七萬九百二十四圓、十八年度七万九百二十四圓を支出する事に滿場一致協贊を得た

海産物加工組合

竣工式盛大に擧行

昨八日午後一時より豫て建築中であつた小名濱町海産物食料品加工組合の竣工式を新裝成つた同事務所に擧行された、來賓として東京大阪、岡山の魚市場重役なども臨席地名官衙長の出席を得て盛大に擧式された、式は宮城遙拜、感謝默禱に初まり幹部を代表して吉田龜之助氏の挨拶伊藤組合長の感謝の辭、來賓として東京、大阪、岡山代表者の祝辭、感謝狀贈呈、各方面よりの祝辭電報を報告し、組合代表者より、この建設に萬腔の努力を拂はれた伊藤組合長に對し胸像を贈呈する目錄を授與され感激裡に式は閉ぢたが、この竣功式を擧げた裏には東京及び六大都市岡山市その他の協力と地元揚繰業者の協力があり現實の加工組合は需要筋と生産者の中間にあり如何にその役割の重大性あるかを物語るものである

右事務所建築費備品その他で一萬二千三百圓、寄附金高一萬二千余圓の膨大なものである

保管米管理

一市二郡講習會

縣主催農業倉庫保管米管理に關する講習會は平市並に石城郡、双葉の一部の各關係者が參集、今九日午前九時より平市國依事務所に開いた、講師は横田定雄農林技手である

翼贊推進員

小名濱五氏指名

小名濱翼贊會支部推進員として水野良吉、立花勇、金成嘉忠、岡山武、大浦弘四郎の諸氏が任命された

産報青年隊

役員決定

平産業報國會青年隊の結成式は十三日午後三時より會議室に行ふが役員は次の如く任命される模樣

△隊長、大内昌吉△副隊長小野國三郎△第一中隊長、西山格之助△第二中隊長相澤正吉

植田町役場

助役收入役改選

植田町では十日滿期になつた北郷助役、高木收入役の改選を行ふ

石炭飲む

二千圓消費

惡重役女に狂ひ

東京荒川區尾久町一の二二四佐藤顯相（四二）は去る十四年八月東京市京橋區湊町日向炭礦會社取締役に就任、常磐炭買入れのため平市研町に同會社出張所を設け石炭買入れに從事中花柳の巷に入浸り藝妓女給等と熱海、鎌倉、箱根方面に豪遊、會社の金を横領し先に行はれた不良狩の網に掛つたが取調べの結果、二千圓の消費が判明したので更に嚴重取調べを進めてゐるが關係者會社重役連も同署に留置されてゐる

惡周旋屋

詐欺發覺

飯野村大字中山字藁谷八無職强窃盜四犯渡邊一郎（四八）は平市大工町鈴木龜吉氏方に周旋業の看板を揭げ去る二月八日小名濱町中島料亭大和屋こと曾我留次氏に電報を以つて湯本に女があるが世話してやると三百圓を騙取したる外豊間町料亭神瀧こと鈴木タケさんにも同樣手段で二十圓を騙取したことと平署に探知され去る六日一齊に行はれた不良狩の網に掛つた

。。。。信號塔倒る。。。。　小名濱測候所信號柱は六日の暴風雨に倒潰されたので明十日假柱を立て、而して本所の指令を待ち堅牢なる信號塔を建設する事になつた

職工奇貨

重傷受けて死亡

四倉町磐城セメント工業所電機見習工大野村大字玉山字御城農與平三男油井淸美君（一六）は昨八日午後二時四十分頃作業に從事中誤つて發電機の中管軸の押ボートに捲込れ頭部並に兩手足等に重傷を負ひ木村醫院で應急手當てを加へたが午後四時半頃絶命した

地下足袋

七百足配給

平市では農繁期を控へ近く地下足袋七百足を配給するが希望者は十五日までに各區長に申請すれば良いと

選擧人名簿

戶主三、三一八名

平市では十五年九月十五日現在の衆議院議員選擧有權者をこの程縣に報告したがこれに依ると有權者五千四百二十四名うち半島人六名で問題になつてゐる戶主選擧權になると（內地人）六割一分五厘に當る三千三百八名で非戶主が二千百十名となる、內半島人は戶主二名、非戶主四名である

心光寺復興

建築委員長決る

小名濱町淨土宗心光寺の復興は住職として宗川氏を迎へると共に本格化し改築總工費五万七千八百圓の寄附方針もついたので、その筋の許可あり次第着手する事となつたが建築委員長としては高木保氏が推薦され、寄附募集許可なり次第內容の方途が決つてゐる丈けに本年中には着手する計畫である

磐中　修錬隊

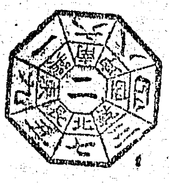
全員繰出し勤勞

磐城中學校修錬隊は六日全生徒が野良に繰出し勤勞水田作業を奉仕する豫定であつたが降雨の關係から今九日市農會鈴木技術員の指導の下に各農事實行組合のお手傳をした

萩野谷大佐

小名濱で講演

來る十四日小名濱町水野罐詰所に於て陸軍々需工場精神動員指導官陸軍大佐萩野谷常之助氏が來場講演あるが聽講者は場主以下全從業員及び水産講習生小名濱實業校生徒で、その他は國婦會、青年團、警防團幹部の聽講も有す模樣である



火曜　己丑　友引　危　觜宿

舊五月十六日

新六月　十日

▲一白　手違ひ思ひ誤りを生じ易き日樂觀す可らず

▲二黑　些事と雖油斷するな災を招き易し爭論注意

▲三碧　見込違ひの損害大なる日金錢貸借間違あり

▲四綠　內外に湧き起る手違ひて辛勞多き不快の日

▲五黄　常業を守りて平穩無事を心懸くべき日なり

▲六白　向上の氣運を有すれば進むに不可なき吉日

▲七赤　物事愉快に進展を遂ぐる大吉日奮勵すべし

▲八白　緩急時に應じて處斷すべし又健康上に注意

▲九紫　家庭圓滿福祿增進の日起業開店建築凡て吉

平市慶弔錄

【婚姻】△平市研町十二番地磯貝一男（三五）さんと千葉縣卯幡郡八街町名取ふじ江（二七）さん△平市北目町五十三番地渡邊ヶタ（三八）さんと鹿兒島縣始良郡重富村川田安親（三六）さん△平市揚土十七番地桑原寛（三六）さんと平市六間門二十番地眞木信子（四三）さん

【出生】平市古鍛冶町七番地藤木末吉三女ひさ子さん

【死亡】平市白銀町九番地佐藤セツ子（一）さん△平市三町目三十番地高橋東太郎（六九）さん

天氣豫報

今晚　南西の風晴れ勝ちのお天氣

明日　同

（六月十日）

滿潮　前三、三五　後五、五五

干潮　前一〇、五五　後一一、〇五

文選女工見習募集

高卒程度

年齡十五、六才

【希望者ハ本人來社アレ】

磐城毎日新聞社

御知らせ

私社中每月第三日曜日に華道研究會を開催してゐますが六月から華道研究了終後午後六時より十時迄本邦茶道の大家塚本照雲宗匠を招き茶の湯研究會を致す事になりました

此の際是非多數お誘ひの上

華道の心髓（道德の涵養精神修養）

茶道（和敬淸寂）を

體驗修得せられん事をおすゝめ致します

六月の開期

十五日午前九時より華道

午後六時より茶道

講師（華道…池坊龍生派家元扇閣 茶道…元小川流、煎茶家元）

東京市　塚本照雲宗匠

會場　平市一ノ六　池坊龍生派華道敎授　岡田華悅宅

柳津虚空像尊參拜並に若松陸軍病院傷病將士慰問

團員募集

一、期日　昭和十六年六月十四、五日（土、日曜日）

一、會費　御壹名　金拾五圓

但シ柳津、平間汽車賃往復、途中乘物一切、晝食並に祈禱札、付東山温泉宿泊料金並陸軍病院慰問金ヲ含ム

（出發コース）十四日午前六時平發↓柳津着午後一時四十一分

（歸途コース）柳津發午後四時四分↓若松着同六時〇六分）東山不動瀧旅館（六時半▽十五日東山（午前九時發）↓陸軍病院着（同九時半）陸軍病院慰問後自由行動…若松市內巡視…若松發（午後一時四十六分）↙平着　六時二十四分）目出度解散

△募集人員五十名

△〆切　六月十日

主催　福島縣內旅行團　平支部

電　六七番（一の井方）